

四谷美談 2016

劇場中央に舞台。それを取り囲むように観客席。
舞台から2本の花道が伸びており、その先にも小さな舞台がある。

序

花道から6名の男女が黒子の頭巾を被り（顔は見えている）やってくる。
各々の生活の場で、食事をしたりしはじめる。一人は寝始める。
やがて頭巾の布を顔の前に垂らし、スマートフォンを取り出し、各々操作し始める。

やがて、ネット上でのつぶやき・会話が始まる。

今日は朝からとてつもなく寒いです。冬だから寒いのは当たり前だけど、それにしても寒過ぎです。というわけで本日はみそラーメンを食べました。体ぽかぽかです。
昼めし食い過ぎた。あの店、とんかつデカすぎ。頼んでないのにごはん大盛り。眠くなってきた。午後ヤバイ。
いい加減、コンビニ弁当飽きた。体壊しそう。明日からはせめてサラダ付にしよう。
今日のお昼はカレーうどん。案の定、跳ねました。午後から外回りなのに……。
昼飯、うまい棒。サラミ味。
外に出たら、眠気吹っ飛んだ。サミイ。
店から出たら突然のドシャ降り！ 傘持ってきてないのに！ 今日、とことんついてな

西日本で豪雨とか言ってる。こっちは雪降りそうだったつってんのに。
札幌は今日も雪です。今年は少なめでお願いします。

続いてうまい棒。チーズ味。

ひとまず雨宿り中。

とか言ったら、雪降ってきた。

札幌は今日も雪です。今年は少なめでお願いします。大事なことなので2回言いました。

結構降ってきた。

全然止む気配なし。

(声)

速報！ 都内で大雪。これから夜にかけて5センチほど積もる恐れ。

えー、電車止まるよ。帰れなくなるよ。

5センチとかなめんな！ 北海道なめんな！

東北なめんな！

うまい棒。メンタイ味。

ひとまずコンビニに突撃！

東京人はちよつと雪積もっただけでなんで転ぶの？ 冬靴はかないの？

5センチ程度で速報流すな。

リツイート！ 5センチ程度で速報流すな。

リツイート！ 5センチ程度で速報流すな。

リツイート！ 5センチ程度で速報流すな。

リツイート！ 東京人はちよつと雪積もっただけでなんで転ぶの？ 冬靴はかないの？

デザート！ 白いブラックサンダー。……。うまかった。昼飯終了。

変に熱くなっちゃいました。

すごい数リツイートされました。

傘売り切れ……。

さて、そろそろ作業再開します。

速報！ 歌舞伎俳優の民谷伊右衛門を逮捕。

(声)

短い沈黙。

え？

何それ。ドラマ？ なわけないか。

四谷美談
2016

G F E A D B C D A E A D C B G A D E C D B C A
(声)
リツイート！ 速報、歌舞伎俳優の民谷伊右衛門を逮捕。
伊右衛門って、誰だっけ。歌舞伎俳優？ テレビ出てる人？
リツイート！ 速報、歌舞伎俳優の民谷伊右衛門を逮捕。
私、この人の舞台観たことある！
リツイート！ 速報、歌舞伎俳優の民谷伊右衛門を逮捕。
俺のテレビには指名手配と書いてたが。
リツイート！ 速報、歌舞伎俳優の民谷伊右衛門を逮捕。
指名手配？ 逮捕？ どっち？
速報訂正、民谷伊右衛門を重要参考人として指名手配。現在、消息不明。
なんだ、まだ捕まってないじゃん。
リツイート取り消し。
ていうか、なんの容疑？
どういうこと？ なんでこの人指名手配されてんの？
お前ら、うまい棒食って落ち着け。
画像検索したら分かった！ 一時期ドラマに結構出てた！
でも、速報で流れるってことは、軽くは無いよね？
クスリか。
クスリかなあ？
何かやりそうな顔はしてたけど。
最近テレビで観ないと思ったら、こんなことに……。
こいつの人生終わったな。ざまあ。
今起きた。おはようございます。
速報詳細、新宿区四谷のマンションで女性の遺体を発見。警視庁は遺体遺棄の重要参考人と
して、歌舞伎俳優、民谷伊右衛門を指名手配。現在、消息不明。
リツイート！ 速報詳細、新宿区四谷のマンションで
リツイート！ 女性の遺体を発見。警視庁は
リツイート！ 遺体遺棄の重要参考人として、歌舞伎俳優、
リツイート！ 民谷伊右衛門を指名手配。現在、消息不明。
詳細キタ。
消息不明って言うのは、つまり逃亡中ってこと？
四谷のマンションって、自宅のことか？
重要参考人って言うってけど、ほぼ犯人ってことでしょ？
遺体遺棄って、要は殺人ってことだろ？
女性の遺体って……誰？
今起きたら、大変な騒ぎになってる。
続報、女性の遺体は、民谷祝さんと判明。
……こいつ、奥さん殺したっぽいな。最悪。
殺人……？
鳥肌立った。
これは前代未聞。
現実は歌舞伎よりも奇なり。
逃げて高飛びか？ それとも自殺か？
ところで、さっきから雪がどんどん積もってるんだが。
速報続報！
リツイート！

与茂七
待て！

花道を通って佐藤与茂七が必死の形相で駆け込んで来る。
それを追って、日本刀を持った民谷伊右衛門が歩いてくる。
与茂七、振り向きざまに伊右衛門の姿を目にして、強く叫ぶ。

しかし、伊右衛門は歩みを止めず、与茂七へと近づいて行く。
やがて舞台に到達した伊右衛門は立ち止まり、刀の柄に手をかける。

与茂七
伊右衛門！

音楽。伊右衛門は刀を抜く。
与茂七は逃げ去り、伊右衛門はそれを追いかけていく。

AとEはBを着替えさせて去っていく。Bは伊藤喜依となる。

二段目

とあるシティホテルのロビー。
黒ドレス姿の喜依が一人立っており、スマホをいじっている。

あ、こつちのイルカの方がいいかも……よしと。

ダークスーツ姿の榎が携帯電話で話しながらやってくる。

榎 (怒っている様子) だからそれで？ 向こうは何て言ってきたの？ ……バカ言ってるんじゃないわよ！ 今回の不倫騒動で損失被ってるのは明らかにこつちなんだから！ ……うちが大手のプロダクションじゃないからってなめてんのよ。まあ、そんな男に捕まるあの子もどうかしてるけど。

榎 (電話を外し) はい？

タクシーは？

あ、そう。(外を見て) まだみたいです。

(再び電話に) もしもし、これから社長と事務所戻るから。詳しくはそれから(電話を切る)

……何の話？

いえ、社長のお耳に入れるほどのことでは……。

(溜息をつき) あの子の不倫騒動のこと？

あ、ええ……。

くだらない！ そんな話題追っかけてるくらいだったら、こつちに来なさいよ。

……それにしても今日は、寂しい会でしたね。

そうね。出席者、一〇〇人も

いなかったでしょう。マスコミも入ってないし。

ねえ、会場のホテルだってこんな……腐っても民谷左門の一周忌だっていうのに。

……まあ、ひっそりとやりたかったんでしょうけど。

どうして？

どうしてって……亡くなり方がアレでしたから。

忘れちゃったわ。どうして亡くなったんだっけ？

つまり、自ら……。

ああ、そうでした。

……それに、後継ぎもパツとしませんね。

え？

伊右衛門さん。

ああ……目がもう少しパツチリした方がね

いや、顔の話ではなく、

(独り言) ……あ、これも……よしと。

……社長、

ん？

さつきから何やってるんですか？

買い物。

買い物って？

絵画。

絵画……またですか!? またイルカの絵ですか!?

ピンポン。ほら。(スマホを榎に見せる) 満月をバックにイルカが跳ねてるの。

もう何十枚も事務所に飾ってますよ、クリスチャン・ラッセン!? ていうか、先週も買ったでしょう、同じの!

違うわよ、こないだのはシャチ!

そうですか……最近ネットでも買えるんですか？

うん、アマゾンとかニッセンとか。

ニッセンでラッセンの絵、買えるんですか!?

四谷美談
2016

喜依 次々おすすめしてくるから、つい。
榎 ニッセンの思うつぼですね。
喜依 ……別にいいじゃない、癒されるし。
榎 そうですか？
喜依 幻想的で綺麗でしょう？
榎 綺麗ですが、なんか……私、この人の絵をじっと見てると「ウツ」てくるんですよ。
喜依 何で？
榎 うまく言えないですが、人工的な匂いがするというか、作られた美しさというか、「作られた美しさ」？
喜依 （ハッとして）あ……ごめんなさい。
榎 ……それにしても遅いわね、タクシー。

榎 榎の携帯電話が鳴る。榎は先ほどと違う携帯電話を取り出しして見る。
……ちよっと、タクシー観てきます。（電話に出て）はい……そうですが……。

榎は外へと出ていく。
それと入れ違いにサングラスをかけた按摩・宅悦が白杖を手には早足にやってくる。
宅悦は喜依に気づかずぶつかる。喜依は転び、顔をしたたか打つ。

喜依 痛……！
宅悦 すみません、大丈夫ですか。
喜依 （鼻を押さえながら）大丈夫じゃないわよ！
宅悦 すみません、急いでおりましたもので。
喜依 急いではぶつかっていいってもんじゃないでしょう！ ええ！
宅悦 ええ、はい。
喜依 ちゃんと前見なさいよ！
宅悦 見えませんもので。
喜依 は？
宅悦 目が、あれでして。（白杖を見せて）
喜依 ……だったら、余計にうろろするんじゃないわよ！
宅悦 はい、申し訳ありません。
喜依 （鼻をさすり）痛い……。
宅悦 あ、ついでにお尋ねしたいのですが、何よ？
喜依 「九代目・民谷左門を偲ぶ会」の会場はどちらになりますか？
宅悦 は？
喜依 大松の間というところなんです。どちらでしょう。
宅悦 （訝しげに）何？ あなた、関係者？
喜依 ええ、九代目には生前、並々ならぬお世話に預かりまして。
宅悦 どういう関係？
喜依 按摩でございます。
宅悦 按摩？
喜依 はい、生前、舞台上上がる前後にはいつも九代目のマッサージをいたしておりました。
宅悦 （軽蔑するような表情で）ふーん……。
喜依 で、会場の大松の間は、
宅悦 来るのが遅いわよ。もう終わったわ。
宅悦 そうだとは思いましたが、せめてご挨拶だけでもと。
喜依 ……挨拶……その格好で？（苦笑）
宅悦 格好？
喜依 故人を偲ぶおつもりなら、もう少しましな格好してきました？

宅悦は笑う。

喜依 何よ急に。
宅悦 いえ、この服しかございませんもので。
喜依 え？
宅悦 馬の耳に念仏、めくらにファッションチェック。
喜依 そういうことじゃないでしょう！ 周りがどう見るか……痛！（鼻を押さえる）

四谷美談
2016

宅悦　　ん？　どうされました？

　　榎が戻ってくる。

榎　　タクシー来ました。

喜依　　……あ、そう。痛い……。

榎　　どうしました？

喜依　　さつき、その男に突き飛ばされて、顔を思い切り打ったの。

　　喜依、榎にそつと鼻を見せる。

宅悦　　申し訳ありません。

榎　　（喜依を見て）あ！

喜依　　腫れてる？

榎　　腫れてるというか……ずれてます。

喜依　　……え!?（慌てて鼻を手で隠す）

　　榎、喜依に鏡を渡す。喜依はそつと鏡で自分の鼻を覗く。

喜依　　（思わず大声で）２センチほどずれている！

宅悦　　え？

榎　　シッ！

喜依　　す……すぐに直さないと、

宅悦　　先生に電話します。（電話を掛ける）

喜依　　何が、ずれました？

宅悦　　寄らないで！

　　喜依は外に飛び出していく。

榎　　（喜依に向かって）タクシー乗って下さい！

宅悦　　あの、さつき転んだ時ですか？　お治します、一応私按摩させていただきます

榎　　按摩じゃ無理！

宅悦　　はい？

榎　　あ、もしもし。キラ・コーポレーションの榎です。いつもお世話になっております。タカ

ス先生いらつしやいますでしょうか？　はい、至急お願いします。これから伺います。

　　榎は去っていく。

宅悦　　……。

　　そこへ、ホテルの従業員が通りかかる。

　　すれ違いざま、宅悦は従業員を白杖で制し。

従業員　　え！
（笑顔で）すみません、大松の間はどちらでしょう？

　　従業員は宅悦を案内しながら去る。

　　大松の間。

　　与茂七と紬が、壁に飾ってある左門の写真を見て歩いている。

　　与茂七は常に左手をポケットに突っ込んでいる。

紬　　……ねえ。
　　ん？

与茂七　　これも左門さんなの？

紬　　（紬の指す写真を見て）ああ。

与茂七　　へー、すごいね。完全に女。しかも美人。
　　ああ。

紬　　すごいねー。女形。

四谷美談
2016

与茂七 女形も良かったけど……九代目左門の当たり役といえ、やはりこれだな。（写真を指す）
紬 これって、何の写真？

与茂七 かなでほんちゆうしんぐら 仮名手本忠臣蔵・三段目、刃傷の場。

紬 どういう場面？

与茂七 いわゆる「殿中でごさる」ってシーンだよ。

紬 あー、デンチュウ……。刀で切りつけてるところだ。浅野……忠信が。

与茂七 （呆れ気味に）浅野内匠頭。
なぐみのかみ

紬 それが。で、切腹するんですよ。

与茂七 そう。これ以上の適役は無かったな。

紬 浅野……たかみな

与茂七 内匠頭。
の力ミ。

与茂七 正確に言えば、歌舞伎では「塩判判官高定」えんやはんがんだかきだって役名になるんだけどな。
なんで？

与茂七 説明すると長くなるんだけど、
紬 じゃあいい。忘れる。
与茂七 忘れる。

そこへ従業員に案内され、宅悦がやってくる。

従業員 こちらです。

宅悦 すみません、ありがとうございます。

与茂七 ん？

宅悦 どなたかいらっしゃいますか？

従業員 ええ……お二人だけ。

紬 誰？

従業員 えーと、

紬 按摩……？

宅悦 あ？

与茂七 確か、九代目のお付の按摩じゃあ……？

宅悦 その声は……あの、与茂七様でいらっしゃいますか？

与茂七 そうです。佐藤与茂七です。

宅悦 おお、やっぱり。按摩の宅悦でございます。

与茂七 ああ、宅悦さんか。

宅悦 どうもしばらくでございました。

与茂七 こちらこそしばらくで。

宅悦 いつもテレビや映画で拝聴しております。大したご活躍で。
とんでもない。

従業員、立ち去る。

宅悦 ところで、こちらの方は？（紬を指し）

紬 あ、あのー、彩吹 あやふき つむぎ 紬と申します。

宅悦 あやぶきさん……どういった字を。

紬 「彩り」に「笛を吹く」の「吹き」に、お着物の「紬」と書きます。
はー、タカラジェンヌみたいなお名前ですなあ。

宅悦 ええ、元・宝塚です。

紬 あー、本当に。芸名ですか。

宅悦 何組だっけ？

紬 花組です。

宅悦 男役ですか？

紬 え？ ええ。

宅悦 背、高いですもんねえ。

紬 ええ、まあ……。あの、見えてるんですか？
宅悦 いえ、（サングラスをずらし）見えませんが。声の飛んでくる角度で大体分かるんです。

四谷美談
2016

紬
そうですか。

与茂七
宅悦さん、今、来られたんですか？

宅悦
ええ、ちよつと仕事が長引きまして、間に合わないとは思ったんですが、せめてご挨拶だけでもと思ひまして。今さらながらのこのこと……。

与茂七
宅悦
そうですか。ただ……もう皆さん帰ってしまいました。
その様ですね。

与茂七
宅悦
閉会して10分も経っていないんですがね。皆さん、お忙しいようで。

宅悦
……寂しい限りです。

与茂七
宅悦
全く。わずか1年しか経っていないというのに。

宅悦
（写真を眺めながら）私の心の中では、九代目・民谷左門はまだ舞台に立って見得を切っておりますよ。あれほどの役者が今度いつ現れるのか……。

宅悦
……あの、九代目の遺影は？

与茂七、宅悦を遺影の前に連れて行く。

与茂七
こちらです。

宅悦は手を合わせ、ぶつぶつと念仏を唱える。

与茂七の付き人・直助がやってくる。

直助
与茂七さん、車回してきました。

与茂七
宅悦さん、では、これで。

与茂七
宅悦
あ、どうもありがとうございました。

与茂七
宅悦
いえ。

与茂七
宅悦
あの、ところで伊右衛門様はどちらに？

与茂七
宅悦
……伊右衛門？

与茂七
宅悦
今日の会の主催者に、遅れてきて謝りもせんわけには参りません。九代目が亡くなってから、ずっと伊右衛門様の方にお世話になっておりますし。

与茂七
宅悦
……伊右衛門なら……真っ先に帰りました。

与茂七
宅悦
え？

与茂七
宅悦
祝さんも、来ませんでした。

与茂七
宅悦
お嬢（祝）もですか？

与茂七
宅悦
……。

与茂七
宅悦
……あの、

与茂七
宅悦
直助、

与茂七
宅悦
はい。

与茂七
宅悦
紬と先に乗っててくれ。

与茂七
宅悦
……はい。

直助と紬は去る。

与茂七

今日……祝さんが来られなかったのは仕方ありません。父親があんな亡くなり方をしたんですから。1年経っても心の傷が癒えないのでしょう。ただ……伊右衛門があんな体たらくで果たしてどうなのか。

与茂七
宅悦
与茂七様……。

与茂七
宅悦
伊右衛門の芝居は誰かが認めるところです。しかし彼もまだ若いし、元々梨園の出でもない。正直言って「四ツ屋」の屋号を背負うには……。

与茂七
宅悦
荷が重いのではないかと……？

与茂七
宅悦
外部の人間が、余計なお世話だと思いますが。

与茂七
宅悦
……。

与茂七
宅悦
（遺影を眺め）どうして、こんなに早く逝ってしまったのか。

与茂七
宅悦
……与茂七様。

与茂七
宅悦
残念でなりません……。

与茂七
宅悦
……私も、どうしても腑に落ちんです。

与茂七
宅悦
何がです？

与茂七
宅悦
……なぜ……九代目が自殺などされたのか。

与茂七
宅悦
確かに、私も未だに信じられません。

四谷美談
2016

宅悦 是つきり申し上げて、あの方はそんなやわな方では無かった。
与茂七 ええ……。
宅悦 うつ病だったの何だのと世間では言われておりましたが、そうは思えません。私は単なる按摩でございしますが、九代目の身体や心根のことは、私が一番分かっていたつもりです。
与茂七 宅悦さん、
宅悦さん、
ましてや、伊右衛門様をお嬢の婿に迎えて、これからという時にまさか
今となつては……我々に出来ることは、心から供養して差し上げること、そして九代目の芝居を受け継いでいくだけです。
……。
宅悦 ……。

与茂七はその場を去ろうとする。

宅悦 本当に自殺なのでしょうか？
与茂七 (立ち止まり) ……？
宅悦 本当に、自らホームに飛び込んだのでしょうか？
与茂七 ……。
宅悦 その時を、誰も見えておりません。
与茂七 確かに……監視カメラにも写っていなかったと聞きました。
宅悦 果たしてそれは偶然なのでしょうか？
与茂七 ……さあ。
宅悦 遺書も見つかっておりません。
与茂七 ……何が言いたいんです？
宅悦 ……九代目は、誰かに
与茂七 くだらないことを言わないで下さい。
宅悦 ……。
宅悦 九代目が誰かに恨みを買ったとでも言うんですか？
与茂七 恨みがなくとも、人が人を殺す理由なんぞいくらでもございます。
宅悦 ……。
宅悦 私は、

与茂七は宅悦の肩を掴み、

与茂七 ……役者としての抛り所を失い、この1年ずつと己の中で格闘してきました……。そして今ようやく整理がついたところなんです。それを今更……くだらない妄想で蒸し返さないでもらいたい。
宅悦 ……。
宅悦 ……もう、終わったことです。
与茂七 私の中では、まだ終わっておりません。
宅悦 ……宅悦さん、
宅悦 もちろん、お嬢の中でも……。
与茂七 ……。

いつの間にか直助が戻ってきて話を聞いていた。

直助 与茂七さん、
与茂七 (直助の方を向き) ……。
直助 急いで下さい。夜の舞台に間に合いません。
与茂七 ……。(宅悦から手を放し)
宅悦 ……。
直助 行きましょう。

しかし、与茂七は動かない。

直助 (強く) ……行きましょう、
与茂七 (直助の言葉を遮り) もし……万が一、九代目を殺した誰かがいるのだとしたら……。
直助 与茂七さん、
与茂七 私は、必ずそいつを……許しません。
直助 ……。

四谷美談
2016

宅悦
……。
与茂七
……直助、行こう。
直助
……はい。

与茂七、直助は去る。
宅悦はその与茂七達の退場に合わせ、白杖で拍子を打つ。

黒スーツ姿の伊右衛門が花道より現れ、入れ違うように宅悦が去って行く。

三段目

伊右衛門の自宅の一室。
伊右衛門はドアを開けて、部屋に入る。

少し後から黒スーツ姿の梅が入ってくる。

梅
お疲れ様でした。
伊右衛門
……ん。
梅
水、飲みますか？
伊右衛門
んん。
梅
はい。(バッグの中からペットボトルを取り出し、渡す)

伊右衛門、水を軽く飲み、梅に返す。梅は再びバッグにしまう。

梅
着替えますか？
伊右衛門
……。 (梅の方を向く)

梅、伊右衛門のジャケットを脱がし、ネクタイを外し、ワイシャツを脱がせる。

梅
……今日、来られた皆さんに聞かれました。
伊右衛門
何を？
梅
一年経って、「左門」襲名はどうされるのか、と。

梅
……まだだ。
伊右衛門
まだ？
梅
まだ早い。
伊右衛門
でも……皆さん早い襲名を期待されていたようですが、口だけだ。

梅
そんなこと、
伊右衛門
世襲でもない俺に、そんな期待をかけている奴はほとんどいない。期待されていないから、あの程度しか集まらない。今日の回に何人来た？
梅
……。

伊右衛門
所詮、婿養子ってことだ……。

花道に、ふらふらと祝が現れる。顔の右半分を包帯で隠している。

梅
(少し苛ついている風に)「伊右衛門」という名前ゆえに侮られるってこともあるんじゃないですか？
伊右衛門
……。

梅
あなたが「民谷左門」という大名跡を継げば、無視は出来ないでしょう。多少強引にでも襲名するべきです。

伊右衛門
……梅。
梅
はい。
伊右衛門
お前が心配することじゃない。
梅
……ですが、

祝が部屋に入ってくる。

四谷美談
2016

祝
おかえりなさい。

伊右衛門と梅、祝を見る。

伊右衛門
……ただいま。
……。

祝
着替え中？
はい……。

祝
ごめんなさい。私の仕事なのに。
いいですよ、これくらい。マネージャーの仕事です。
……。

伊右衛門
……具合はどうだ。
今日は調子いいようなので。
そうか。

祝
一周忌の方は、どうでした？
滞りなく。
みなさん、来てくれました？
もちろん。

伊右衛門
どれくらい？
ざっと……二〇人くらいは。

祝
あ、そう。そんなもの……。梅さん、あとで名簿を下さい。
名簿ですか？
顔を出せなかった分、せめてお礼状くらいは私が書きます。

梅
あ、いえ、大丈夫です。それも私の方で。
（語気を強め）そういうわけには行きません。まがりなりにも、民谷左門の娘ですから。
……あの……。伊右衛門をチラッと見る）

伊右衛門
……祝、
はい？

伊右衛門
分担してくれ。梅と半分ずつでいい。
だから、そういうわけには、
少しはそういう仕事も覚えさせたい。

梅
あ、はい。お願いします。

祝
……分かりました。
じゃあ梅、明日名簿を持ってきてくれ。
はい……。

梅、脱がせた衣服を持って部屋を出ていこうとする。伊右衛門、座る。

祝
で……肝心の人は来てたの？
ん？

伊右衛門
来てたの？
……。

祝
ねえ。

梅
え、誰の話ですか？
だから、九代目を殺した犯人の話。
……え？

祝
来てたんでしょう？ ねえ？
祝さん……何言ってるんですか？
梅、

伊右衛門
九代目は……自殺して亡くなったんですよ？ 駅のホームから飛び降りて、
あなたも騙されてるの？
騙されてる？

祝
父は殺されたの、何者かに。ホームに突き落とされて。
祝さん、

梅
自殺に見せかけて！
……いくらなんでもそんな話、

祝
そんな話？

梅
じゃあ、誰が殺したっていうんですか？
（伊右衛門を指し）それは、その人が知ってる。

四谷美談
2016

梅
伊右衛門

え？
……。（伊右衛門を見る）